

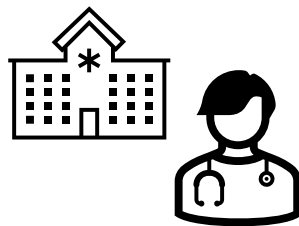
産業医ネットワークモデル事業

令和7年度 産業医・事業場へのアンケート結果

産業医が見つからない・・・秋田に産業医を引き受けてくれる人はいるのか

秋田産業保健総合総合支援センター

秋田県医師会



アンケートを
含む郵送物



プライバシーマーク
取得企業



送付に係る
産業医情報



県内産業医に郵送

QRコード・URLに
よるアンケート回答

紙面に
よるアンケート回答



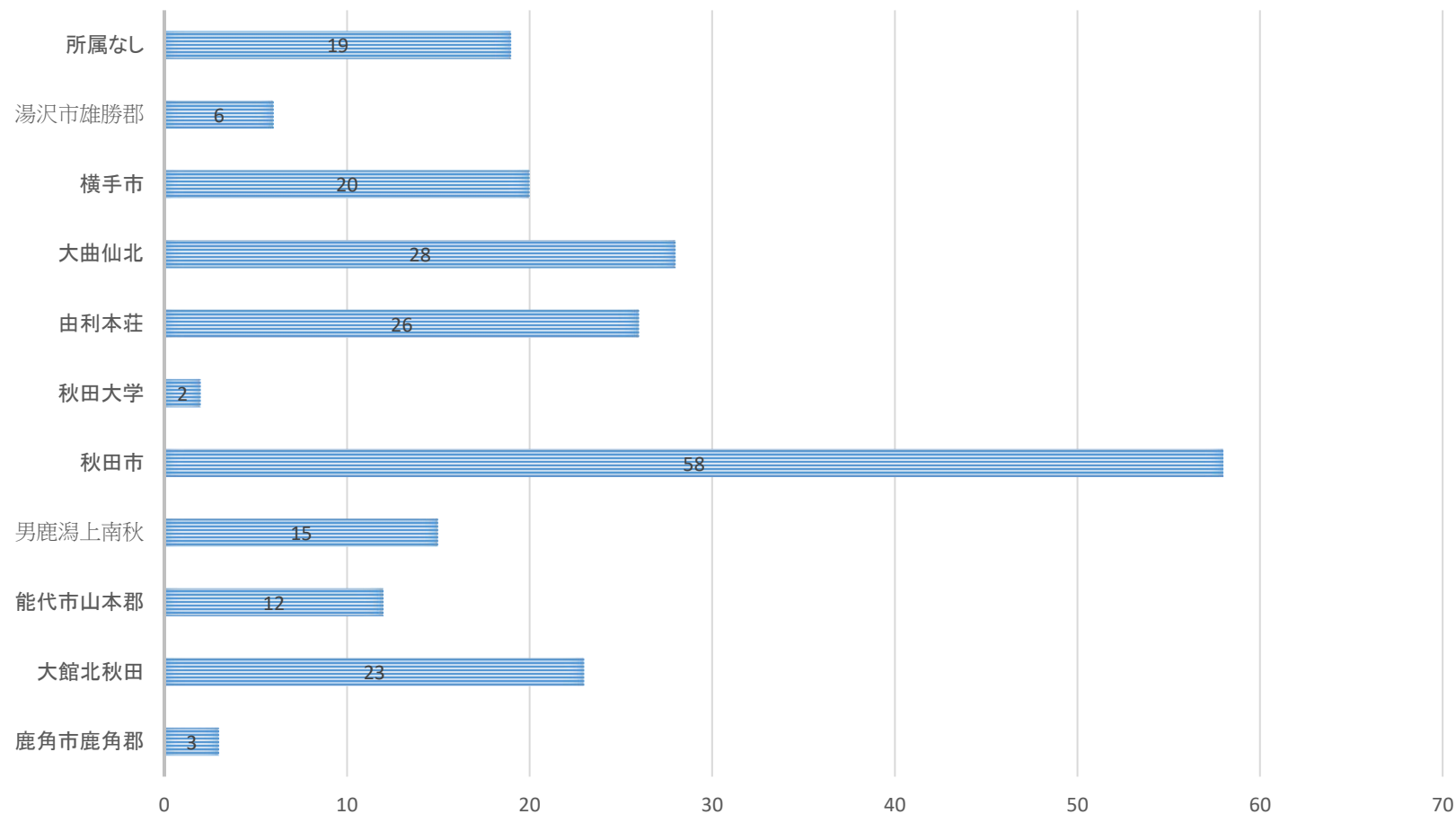
集約化しセンターサーバーに保存

秋田県医師会様のご協力のもと県内の医師会に
所属をしておられない方も含めて、産業医登録
をしている方々にアンケートを実施

回収率				
送付数	449件			
回答数	211件	内紙データ	97件	46.0%
		内データ	114件	54.0%
回収率	47.0%			

所属郡市医師会について

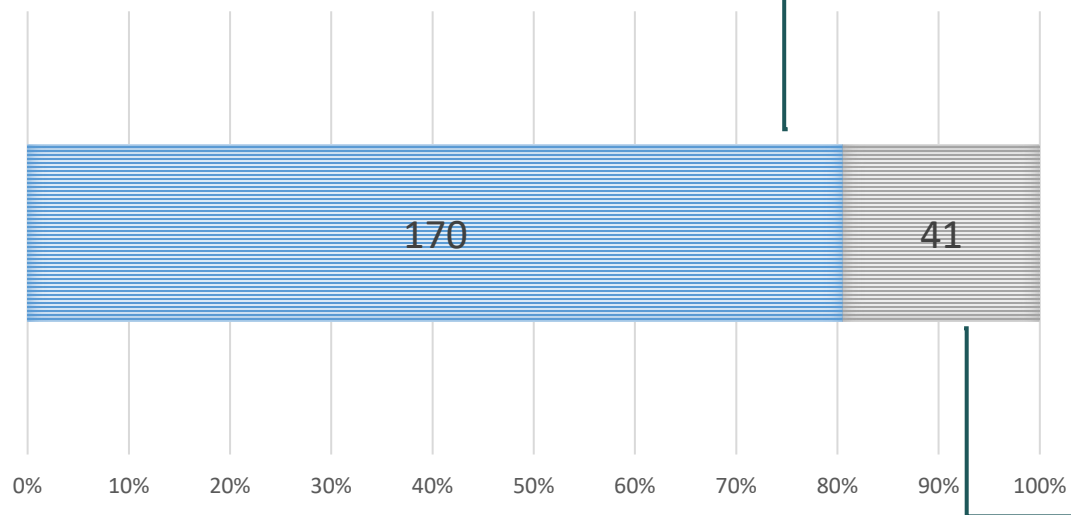
郡市医師会所属先



産業医活動について

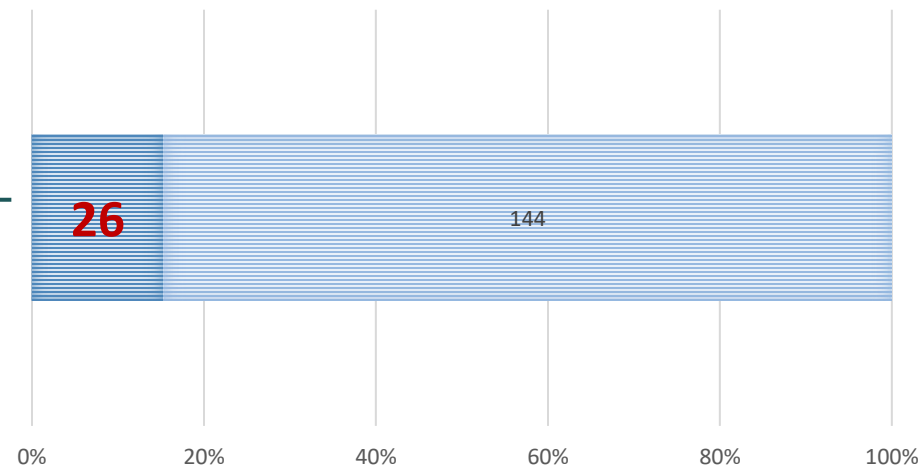
産業医活動の有無

■ している ■ していない

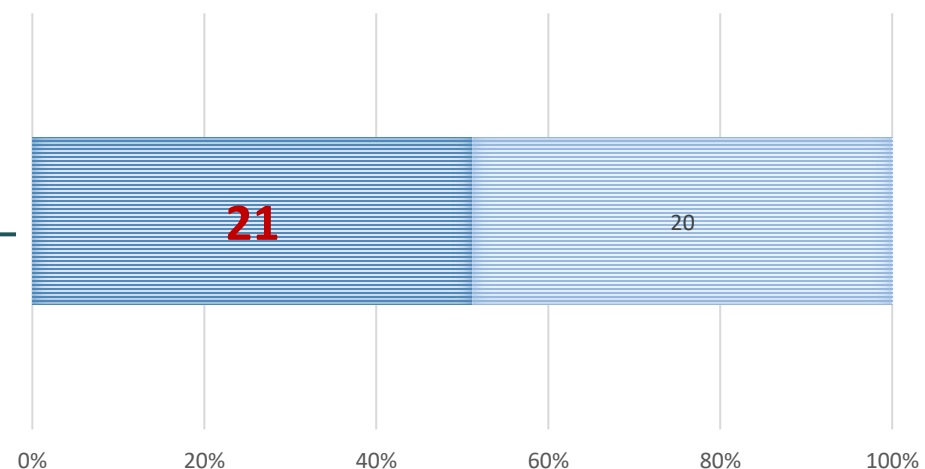


県内に産業医活動を見込める先生が47名在籍

■ 増やしたい ■ -



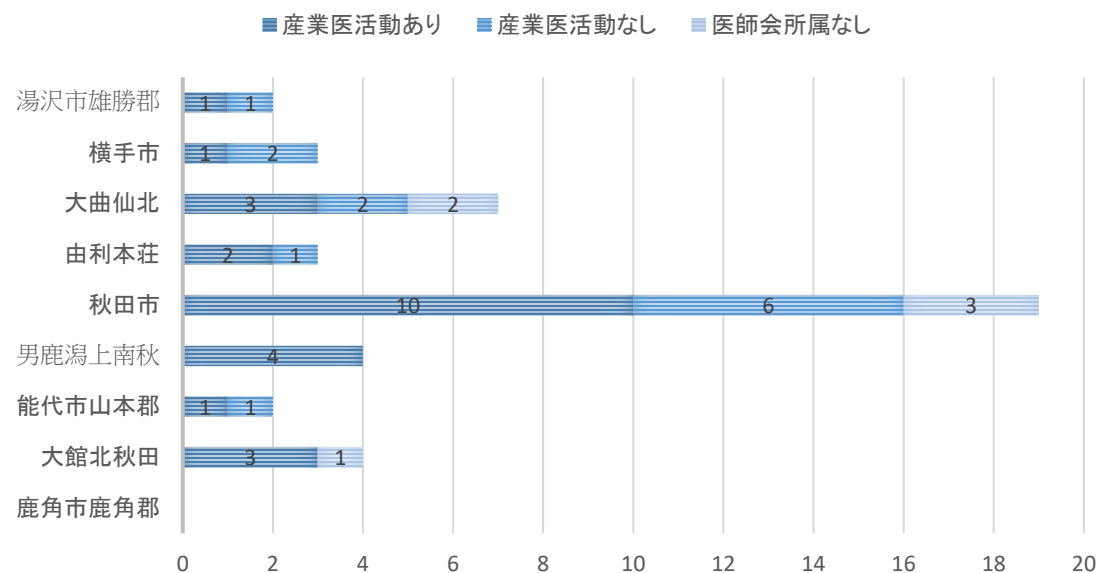
■ 希望あり ■ 希望なし



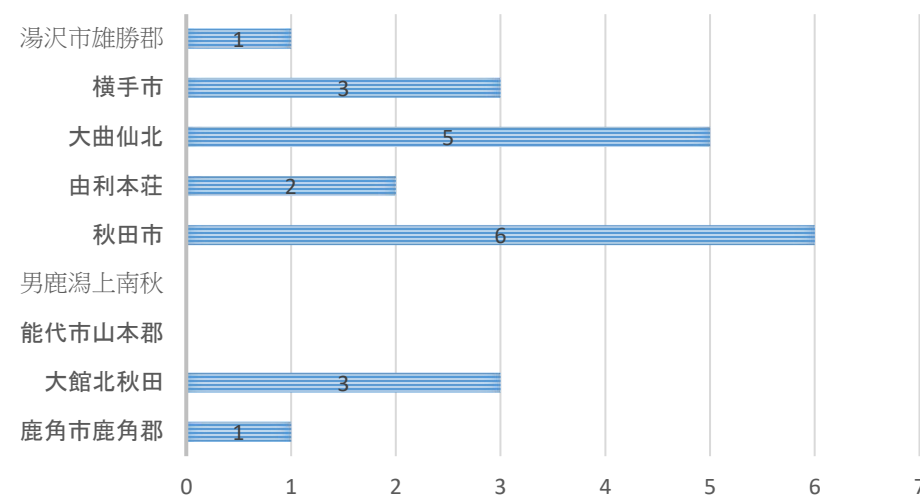
産業医活動希望者は引退希望者の穴を埋めることができるのか

秋田市以外の郡市は引退する産業医を補填するので精いっぱい
 (医師会所属のない医師は勤務先住所で活動地域を推定)

産業医活動希望者

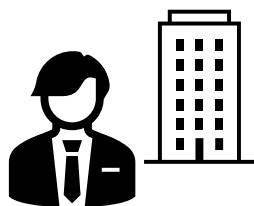


産業医引退希望



事業場の産業医ニーズはどの程度あるのか

秋田産業保健総合総合支援センター



アンケートを
含む郵送の依頼



プライバシーマーク

取得企業



事業場に郵送

QRコード・URLに
よるアンケート回答

紙面に
よるアンケート回答



集約化しセンターサーバーに保存

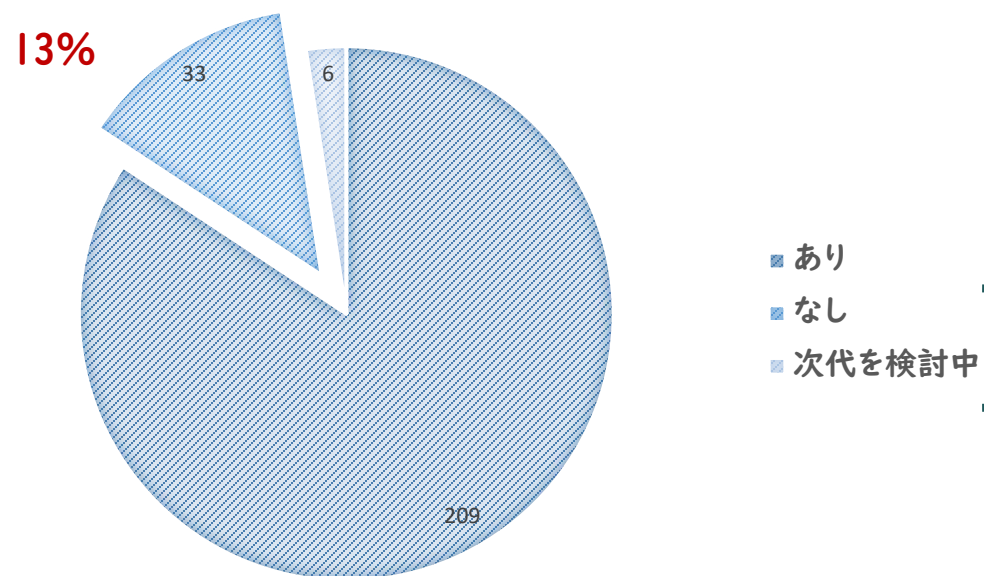
事業場に対してアンケートを実施

規模 50人以上 回収率				
送付数	737件			
回答数	246件	内紙ベース	88件	35.8%
		内データ	158件	64.2%
回収率	33.4%			

規模 50人未満 回収率				
送付数	2656件			
回答数	1070件	内紙ベース	469件	43.8%
		内データ	601件	56.2%
回収率	40.3%			

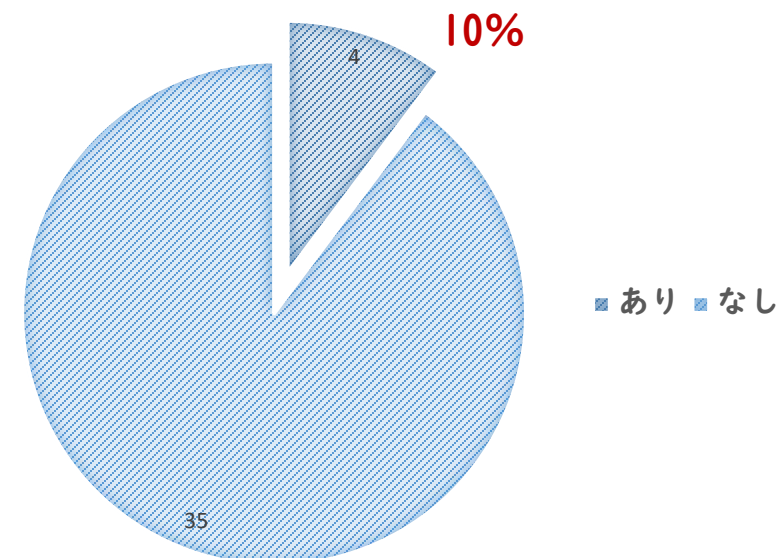
規模50人以上の事業場について ①

産業医を選任していますか？



回答いただいた事業場の13%が産業医の選任なし？！

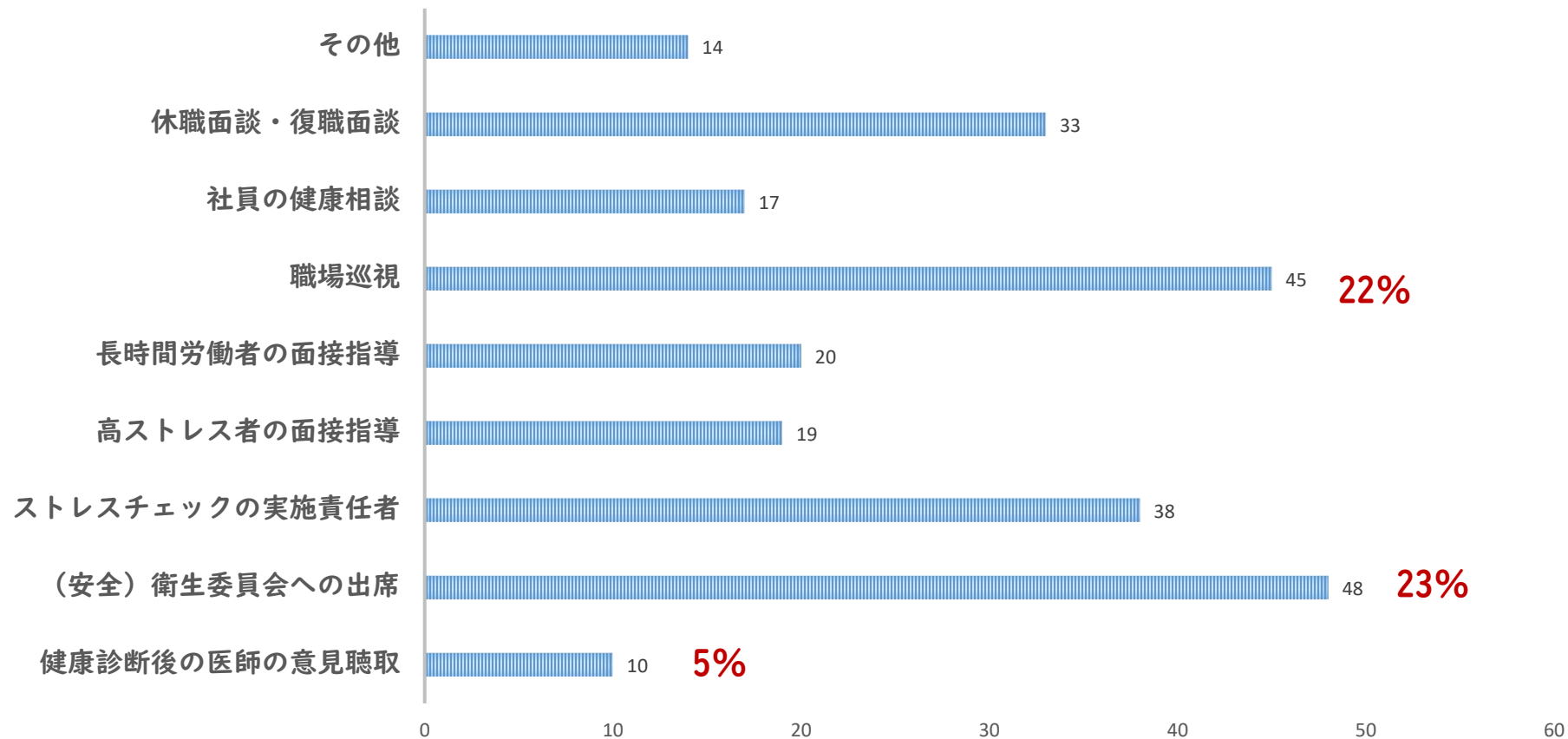
産業医選任の希望はありますか？



産業医の選任なし、次代を検討中の事業場のうち10%しか選任の希望なし。産業医の選任がない事業場に限定すると1社（3%）しか選任希望がない。産業医の選任が義務化されている規模でも希望がないのはなぜなのかは不明。

規模50人以上の事業場について ②

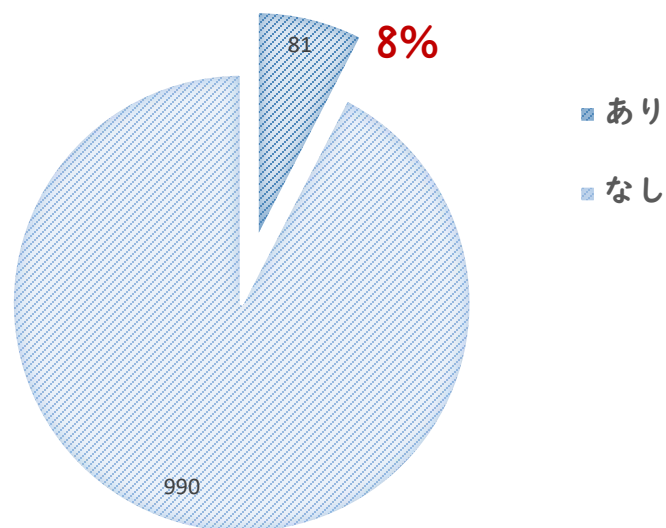
産業医に依頼できない業務（複数回答可）



職場巡視、衛生委員会への出席は産業医の主要業務だが、いずれも約20%の事業場では実施が難しい状況が伺える。

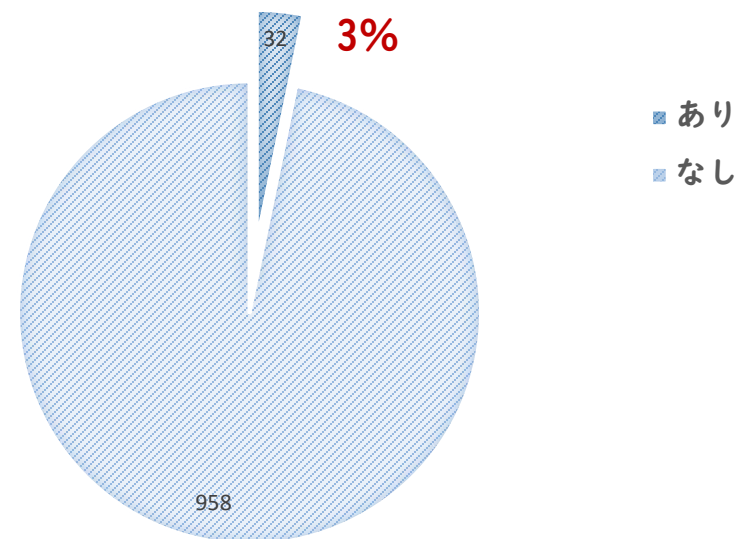
規模50人未満の事業場について ①

産業医を選任していますか？



選任義務のない、規模50人未満の事業場であっても8%の事業場で産業医を選任している。

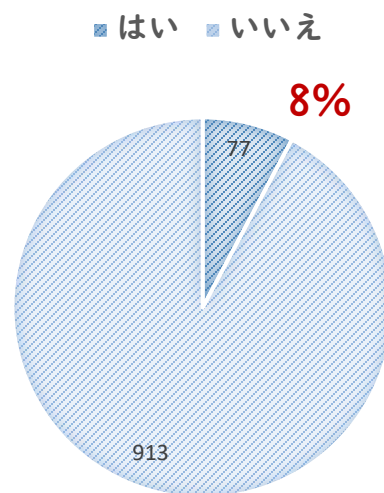
産業医選任の希望はありますか？



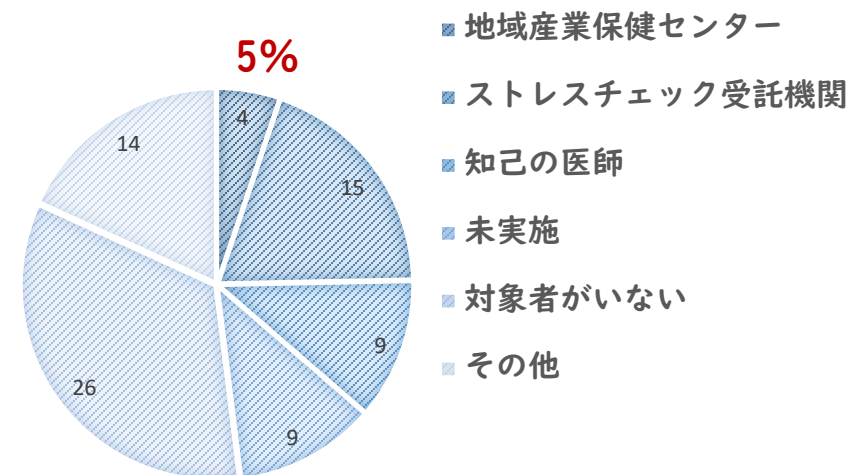
現在選任はしていないが、選任希望を持っている事業場は少ないながらもある。

規模50人未満の事業場について ②

ストレスチェックを実施していますか？



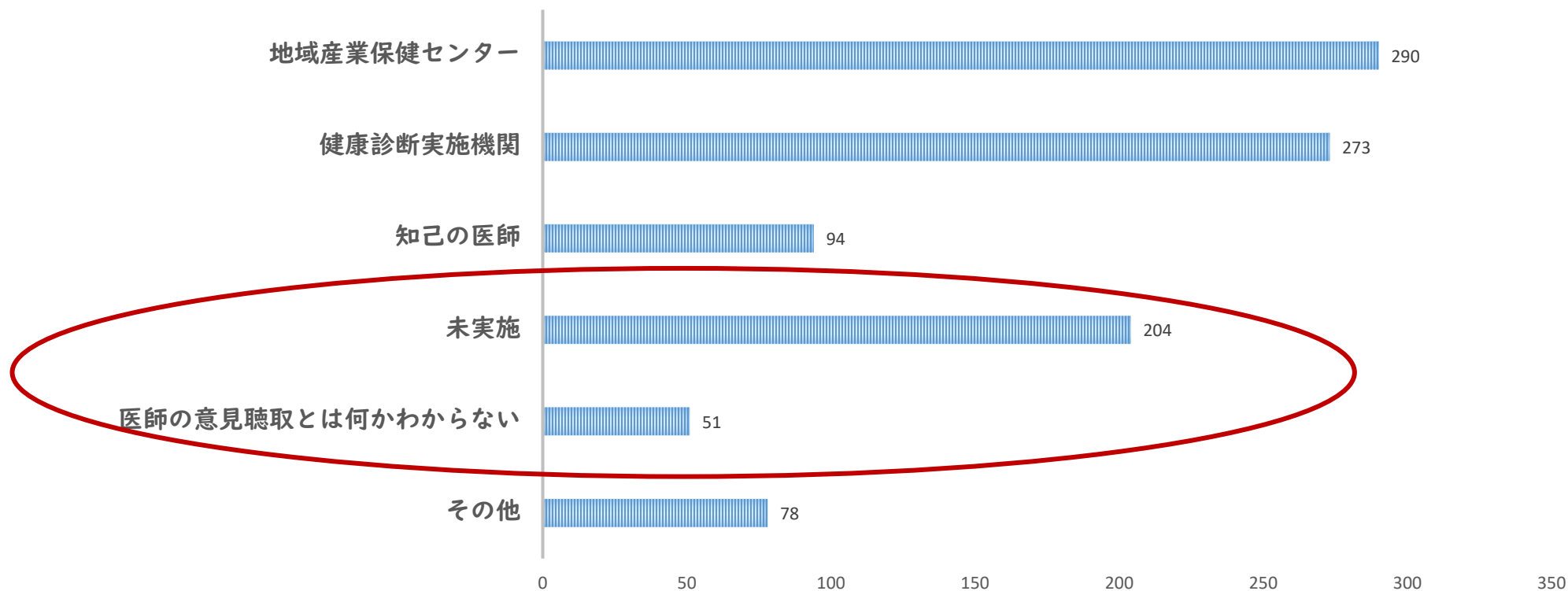
高ストレス者面談実施者



規模50人未満の事業場へもストレスチェックが義務化されることから、地域産業保健センターで高ストレス者面談実施のニーズに対応できるのか懸念されるところ。現在ストレスチェック実施している事業場が少ないことから一概にはいえないが、その中で地域産業保健センターを利用している事業場は5%ほど。この割合であれば実施事業場が拡大しても対応可能ではないか。また、産業医アンケートにて、産業医活動を見込める医師のほとんどが高ストレス者面談に対応可能との回答であり、地域産業保健センターの登録医として応じてもらうことができれば、対応可能な医師の供給も見込まれる。

規模50人未満の事業場について ③

健康診断後の医師の意見聴取依頼先



労働基準監督署から指導を受けたことなどをきっかけに依頼がくることから、地域産業保健センターで取り扱う医師の意見聴取件数は年々増加している。潜在的なニーズがあり、今後ますます増加することが予想される。高ストレス者面談同様に、こちらも地域産業保健センターの登録医として応じてもらうことができれば、産業医活動を見込める医師に対応願いたい。